

令和元年度 二学期 始業式 式辞

長いと思っていた夏休みも終わり、いよいよ二学期が始まりました。大変な猛暑が続いた今年の夏でしたが、大きな事故もなく、今日の始業式で元気な皆さんの顔が見られたことを大変うれしく思います。

一学期の終業式では、「何かを続け、やり遂げる夏休みにしてほしい。」というお話をしました。自分に向き合い、自分の可能性に挑戦し、何かをやり切る夏休みにすることができたでしょうか。

ディリーライフを通して是非、担任の先生に報告して下さい。

さあ、まずは、本日からの課題テストで夏休みの学習の成果を十分に発揮してください。

二学期は行事がたくさんあります。多くの行事を通して、視野を広げ、一人一人が成長する学期にして下さい。

一つお話をします。夏の甲子園で、兵庫県代表の明石商業が活躍しました。テレビで見た人も多かったのではないのでしょうか。そのとき、解説をしている元強豪校の監督さんに、実況中継をしているアナウンサーが、質問をしました。それは、

「優勝したときはどんなチームでしたか？」でした。

この質問は「どんなチームが優勝できますか？」と言い換えることができます。別の試合でも同じ質問がありましたが、お二人の監督が同じ答えを言われていました。

それは、「大人のチームです。」でした。

どういう意味か詳しく聴くと、「個人の成績よりも、チーム全体のことを考える選手が集まったチーム」。と答えられていました。

私は、なるほどと思いました。

これは、学級、学年、部活動どんな組織にも当てはまると思いません。

すでに生徒会執行部の人たちがリードしてくれていますが、2学

期は、たくさんの行事を通して、集団を少しでも大人のチームにするように心がけましょう。一人一人が視野を広げ、いろいろな角度からものごとを見て、自分自身を成長させることを目標にして下さい。より多くの人全体のことをしっかり考える集団となれば、素晴らしい成果が得られると思います。

体育祭、合唱コンクール、文化祭、2年生はトライやるウィークなど多くの行事を通して、一人一人が全体のことを考えるように心がけ、視野を広げ、成長する学期にして下さい。

悔いのない二学期の中学校生活を送ることを期待します。

令和元年9月2日

校長 堀 富雄